

自然地域における環境変化と サステイナブル・ツーリズムに関する研究

Research on Environmental Change and Sustainable Tourism in Natural Areas



チャクラバルティー アビック

CHAKRABORTY Abhik

准教授

Associate Professor

専門領域 Areas of expertise

■地理学・景観分析
Geography (Landscape Analysis)

■山岳地域・世界遺産
Mountains, World Heritage Sites

■観光現場における持続可能性
Sustainability in Tourism Destinations

主な担当科目 Subjects

■自然環境論

■Nature Tourism

■Principles of Tourism B

■観光学のための社会科学
方法論 (大学院)

■Critical Issues in Natural Area
Tourism (Graduate School)



tourism

Love your place
Share it with the world

研究活動 Research

自然環境と触れ合う時の「感情」や、その経験から生まれる思想を大事にし
ながら、生態系の成り立ち・営みと、動植物の生息地の変化を理解することに
研究の焦点をおいています。主な研究現場は、北アルプス、大雪山、利尻島・
礼文島、屋久島や東北の山岳地域であり、自然地域での観光、エコツーリズ
ム、国立公園における自然環境の保全と持続可能な観光の課題などについて
調べています。自然環境と観光の接点について理解を深めたい方や、自然や
アウトドア活動が好きな方、ハイキングやキャンプなどに挑戦したい方は
ぜひ声をかけてください！



鷲羽池、硫黄尾根、槍ヶ岳 (中部山岳国立公園)



流氷と知床の海岸



洞沢カールと前穂高岳 (中部山岳国立公園)



白神山地のブナ

□取得学位
博士 (学術)

□主な出版
Natural Heritage of Japan (Springer 2018)

□学会・専門組織所属等
世界自然保護連合国際保護地区 (IUCN-WCPA) 会員
American Association for the Advancement of Science (AAAS) 会員
European Geoscience Union, Japan Geoscience Union 会員
日本地理学会 会員

ゼミ活動 Education

学部のゼミでは、主に「自然地域の変化」、「エコツーリズム」、「世界遺産と
観光」などを軸に活動を行っています。生態系の変化や希少種の生息状況を
意識した研究が多いですが、自然と接点深い文化的側面に関する研究も
歓迎です。大学院ゼミでは世界自然遺産地域や国立公園を対象に、現場中心
型の研究を指導しています。